

議事(1)

第4回洋上風力発電ゾーニング 協議会の振り返り

第4回協議会 協議内容の概要(1/2)

ご意見	今回対応
<ul style="list-style-type: none">・漁協や漁船漁業者協議会など、漁業者に対して意見聴取をしっかりとしてほしい。また、丁寧な説明をお願いしたい。	新たに、漁船漁業者協議会及び北部太平洋まき網漁業協同組合連合会にヒアリングを行った。 (議事3)
<ul style="list-style-type: none">・ゾーニングの最終成果の方針について、今後の検討にかかわるため環境省に確認してほしい。	環境省における現時点でのゾーニング事業の実施方針を確認し、本事業の今後の作業方針を再検討した。 (議事2)

第4回協議会 協議内容の概要(2/2)

項目	ご意見
計画・ゾーニングについて	<ul style="list-style-type: none">・洋上風力発電施設が観光資源となっているところなど、海外の事例を収集してほしい。・横浜市と締結した「再生可能エネルギーに関する連携協定」についても加味して導入目標を検討してほしい。・鳥類現地調査で希少な種が出ている場所や集団繁殖地、バードストライクの恐れがある区域は保全エリアにするべき。・みちのく潮風トレイルは、自然景観はもちろん、人里の風景や産業を包括して楽しんで歩くというコンセプトであり、風力発電がその中にあるのもいいと思う。眺望点の侍石や横沼展望所と上手くバランスをとる必要がある。
風車の形式・配置等について	<ul style="list-style-type: none">・魚類は底層の種が多く、浮体式では魚礁のような効果は得られないのではないかと検討してほしい。・風車の配置は、規模など組み合わせて現実的な場所に設定すべきである。・災害時などに複数の送電線をとれるようにしておいた方がよいという考え方もある。複数の送電線の案も出すと良いのではないかと。・大丈夫だと言われた高さでバードストライクがあったという話も聞いたりする。ゾーニングの段階では、高さを判断材料にはしない方がいいかもしれない。
情報共有・意見聴取について	<ul style="list-style-type: none">・市民アンケートで、自然環境や動物に関心があり、配慮を求める意見も多く、ゾーニングにも取り入れなければならないと思う。・アンケートの自由意見を見ると、“条件付き賛成”や“情報が少ないから判断できない”という意見が多くある。協議を重ねながら、もっと住民の理解を得られるようにする必要がある。・市のエネルギー政策の取組みについて、シンポジウムの開催などで市民にも知ってもらい議論してはどうか。・航空自衛隊ともゾーニングの早い段階から協議の場を持たせていただきたい。